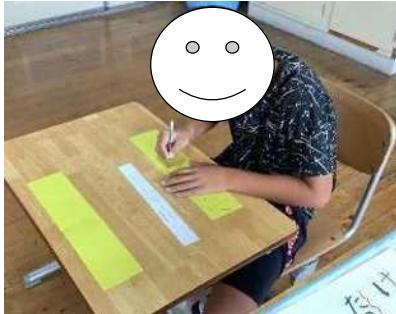


実践事例様式

校種 (学級種別)	小学校 (自閉症・情緒障がい特別支援学級)	本事例の 教科等名	自立活動
在籍児童 生徒の実態	<p>○自分の感情を抑えることができずに、友だちを傷つけてしまったり、物を壊してしまったりすることがある。特に、ゲームの勝敗にこだわり、負けてしまうとイライラを抑えることができない。</p> <p>○ひらがなを書くことや、読むことにも課題があり、学習は嫌がることが多い。学習は短時間しか集中できない。</p> <p>○朝の会以外は、1日の大半を支援学級で過ごしている。</p>	目標 ・ 指導 内容	<p>【目標】 ○暴れてしまうまでの自分の気持ちや様子を振り返り、視覚化して表し、客観的に見ることを通して、対処法について考えることができる。</p> <p>【指導内容】 2. 心理的な安定 (1) 情緒の安定に関すること</p>
指導の経過・ 工夫点・子ど もの変容	<p>【指導の経過】 ○Aさんの一番の課題は、暴れて人や物を傷つけてしまうことであり、1学期から休み時間にトラブルなく遊べたかを振り返り、シールを貼るという活動を続けていている。2学期になり、自分から「おこらないようにする」という目標を立てたことから、夏の研修で知った教育ソフト LITALICO の『みんなで作ろう！怒りの火山シート』を参考に A児と対処法を考えることにした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p><書く活動も積極的に></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><レイアウトも自分で></p> </div> </div> <p>①A児に怒りの段階を考えさせ、レベル1、2、3の自分の様子を考える。 ②火山が爆発しないために、どうするのかを考える。→レベル1・2で、一旦、やめる ③イライラの原因を遠ざけるために、どうするのかを考える。→好きなことをして気分転換 ④好きなことやイライラを抑えられそうなことを考える。→タブレット、パズル ⑤作った作品に自分で名前をつける。→イライラメーター</p> <p>○「イライラメーター」の作成は、意欲的に取り組み、2時間続きで集中して作った。また、自分の思考や行動をしっかりとと思い起こし、分析してこれから対応を考えることができていた。</p> <p>※個人情報の関係から画像の一部を加工しています。</p>		

	<p>【工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○書く活動に抵抗があるため、考える場面では教師がワークシートに書き、掲示物を作る時に、Aさんに書かせるようにした。 ○書く活動が長く続かないように、1枚書き終えたら模造紙に置いてレイアウトを考えさせ、次に書く文字を確認しながら、続けて意欲的に書けるようにした。 ○落ち着くための対処法をAさんの好きな青で掲示し、すぐに目に入るようにした。 ○字を読むことが苦手なAさんが見てすぐに理解できるように、イラストや写真を使用した。 ○イライラして暴れないためのこの作戦に、自分で名前を付けさせた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p><完成したイライラメーター></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><家庭用></p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○イライラしたら何をするかは、好きなけん玉だと上手にできないとイライラが増すため、探せば必ず当てはまるパズルの方がイライラは減らせそうなど、しっかりと考えることができた。 <p>【子どもの変容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イライラしていると感じたら、自分からやめようとする姿勢が見られている。 ○「自分の気持ちメーター」を作ろうとするなど自分の気持ちに向き合おうとする姿勢が見られている。
成果と課題・今後の方向	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作りながら「レベル2になったら自分ではやめられないから、先生がとめて。」など、作りながらも自分と向き合うことができ、声をかけると「まだ大丈夫。」など、自分の気持ちを振り返ることができるようになっている。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イライラしたらやっていることを一旦やめて、次に何をするかの選択肢をもっと増やせるように、好きなことや気分転換できることを探していく。（先生たちのイライラ解消法をインタビューするなど）